

公益社団法人 日本材料学会
腐食防食部門委員会 第364回例会

日 時：2026 年 1 月 22 日(木) 12:45～16:30

場 所：大阪府教育会館 たかつガーデン 2F コスモス

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 7 番 11 号 TEL: 06-6768-3911

(近鉄「大阪上本町」駅から徒歩約 5 分, Osaka Metro 谷町線「谷町九丁目」

駅から徒歩 約 8 分. <https://www.takatsu.or.jp/access>)

腐食防食部門委員会の法人委員・個人委員はオンラインでの視聴も可能とします。

主題「医療用金属材料の腐食防食」

生体内では塩化物イオンなどを含む体液やタンパク質、細胞などの生体由来分子に起因して金属材料の腐食が誘起されるだけでなく、日常的な運動にともなう材料変形により不働態皮膜が破壊され腐食が加速されうる。一方、金属材料の腐食により体内へ溶出したイオンは体内の細胞や生体組織に対して毒性を示す場合もある。そのため生体環境における金属材料の耐食性評価、さらには表面処理に関する検討は医療用金属材料の信頼性向上に不可欠である。本例会では、「医療用金属材料の腐食防食」と題して、医療用金属材料の劣化挙動の評価、表面処理に関する研究をご講演頂く。

— プログラム —

Business Meeting

12:45～13:00

(司会 和田征洋 住友化学㈱)

1. 生体環境での腐食を抑制する医療用金属材料の表面処理

13:00～13:50

真中智世 富山大学

2. 生体内模擬環境の腐食と金属アレルギーの相関

13:50～14:40

堤祐介 物質・材料研究機構

休 憩

14:40～14:50

(司会 徳岡聡 出光興産㈱)

3. 応力と生体因子の複合環境における医療用金属材料の電気化学挙動

14:50～15:40

土井康太郎 物質・材料研究機構

4. 生体用 Mg 合金のアパタイト被覆とその腐食挙動

15:40～16:30

廣本祥子 物質・材料研究機構

(協賛予定) 近畿化学協会, 軽金属学会, ステンレス協会, スマートプロセス学会、電気化学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本鉄鋼協会, 日本微生物生態学会、日本バイオマテリアル学会、日本分析化学会, 日本防錆技術協会, 日本表面科学会, 表面技術協会, 腐食防食学会, 溶接学会

腐食防食部門委員会委員以外の方は, 参加費を戴きます。

日本材料学会・協賛学会会員: 5,000 円, その他非会員: 10,000 円。

【申込先】 〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 公益社団法人日本材料学会

e-mail: jimu@office.jsms.jp